

# Weekly Bulletin

2022-2023



RI会長  
ジェニファー・ジョーンズ



IMAGINE  
ROTARY

## 静岡東ロータリークラブ

会長/山下勝央 幹事/杉山輝光

事務局/静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル5F TEL054-254-5611

例会場/ホテルアソシア静岡 例会日/毎週 木曜日 12:30~13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長  
山下勝央

第 3050 回例会 令和 5年 2月 9日

《司会》 杉山輝光 君

《合唱》 我等の生業

《ソングリーダー》 谷口智康 君

《ゲスト》 フレンドシップフォース

静岡代表 鈴木靖子 様

《ビジター》 なし

《本日のお祝い》

・お誕生日

2月11日 妹背俊紀君

2月12日 山下勝央君

・結婚記念日

2月10日 佐野哲一君

《会長挨拶要旨》 山下勝央 会長

本日は第 3050 回例会となります。宜しくお祝い申し上げます。先週の 2/3~2/4 にかけて、2022-23 年度国際ロータリー (RI) 会長のジェニファー・ジョーンズ会長が昨年の秋に来静された際に宿泊をされた、グランバッハ熱海に別団体の研修旅行で東ロータリークラブの中島会員と、長田きみの会員と共に行ってきました。

図々しいとは思いながらも、折角ですので「自分は東ロータリークラブの会長の山下と言いますが、先日宿泊されたジェニファー・ジョーンズ会長が宿泊された部屋を見せてください」とフロントの方をお願いをしたのですが、丁重にお断りされましたので、別のお話しをします。本日は熱海から戻った翌日の 2/5(日)に観た映画の話を少しさせて頂きたいと思います。

J C の先輩であり、お仕事でも大変お世話になり尊敬している、江崎新聞グループの江崎社長から、再三再四薦められていた映画「ザ・ファーストスラムダンク」をセノバ 9 階で観てきました。スラムダンクの名前も聞いたことが無い方もいらっしゃると思いますので、ウィキペディアによりますと、「この映画は週刊少年ジャンプにて、1990 年から 1996 年にかけて、全 276 話に渡り連載されていた高校のバスケットボール部が舞台の漫画が原作。30 年近くの時を経て、2022 年の冬に映画化された。スポーツ漫画史上 1 位の呼び声が高く、途絶えぬ人気を誇っている」と書いてあります。映画を観た感想は最高。もう一度観たいと思いました。場面によっては目頭が熱くなり、久しぶりにエンドロールが終わるまで席にどっしり座ってしまいました。

もし自分がこの映画にサブタイトルを付けるとしたら、今風ですが、～スラムダンクに学ぶ最強チームの作り方～となります。個性派ぞろいの選手たちは、挫折を乗り越えチームメイト同志ぶつかり合いながらも、お互いの特徴や個性を認め合い、最終的には絶対に勝てないと思われていた絶対王者にインターハイで挑む事になります。

最強のチーム創りにもっとも必要な事は、時代は変われどメンバーそれぞれが「本気であること」だと学びました。本気であるからこそぶつかり合う、それによって相互理解が進み、同調する事が出来る。映画のクライマックスで印象的な言葉がありました。「あいつの事は嫌いだけどコートの中では信頼できるんだよな」今の弊社の様な当たり障りのない人間関係では、いつまでたっても最強のチームは出来ないな、と反省しきりでした。

最後になりますが東京の「GINZA SIX」でも、スラムダンクの特別展を開催中との事。30 年前の泥臭い青春

スポーツ漫画であるスラムダンクの再ブームは、コロナにより気薄になってしまった人間関係を、少しでも取り戻したいという心理が背景にある様な気がします。

#### 《幹事報告》

- ・3月理事会のご案内  
日時：3月2日(木) 11:30～  
場所：ホテルアソシア静岡 2F「すいせん」
- ・第2回静岡グルメ会のご案内(有志を募るお食事会)  
日時：3月2日(木) 17:30～19:30  
場所：本家「あべや」静岡店
- ・浅畑川清掃のご案内  
日時：3月25日(土) 9:30～11:30  
場所：静岡市葵区諏訪(麻機)ヘリポート駐車場集合
- ・国際ロータリー第2620地区 静岡第3グループIM  
日時：3月26日(日) 14:00～19:00  
場所：ホテルアソシア静岡 3F 駿府II
- ・令和5年第1回あすなろ会ゴルフコンペ開催  
日時：4月4日(火) 駿河コース9:00～  
場所：リバー富士カントリークラブ

#### 《来賓卓話》

演題「ホームセステイは世界を広げる」  
所属 クラブフォーラム(国際奉仕)  
役職 フレンドシップフォース静岡代表  
氏名 鈴木靖子 様

#### 《卓話サマリー》

フレンドシップフォースは1977年にアメリカのウエインズミス氏が設立、ジミーカーター元大統領の推奨で始められた草の根国際交流団体で、「国の違う市民



同志が家庭滞在という形で生活を共にし、考え方や文化の相違点や類似点を発見し、相互理解を深めることにより世界平和を実現していこう。」という趣旨の活動

国際本部はアメリカ・ジョージア州アトランタに置かれ、

世界70か国約350以上のクラブが交流活動の調整や連絡にあたっています。

日本では1979年に初めて渡航があり、当初東京にしかなかった組織も、今では4ブロック28クラブに広がり活発な交流活動を行っています。

#### 1. 渡航

民間大使(アンバサダー)として外国へ赴き、自国の正しい紹介と相手国の理解に努めるのがアンバサダーの役割です。



一回のホームステイは1

週間または2週間滞在で、自由旅行を追加することができます。また、1～4泊のプランもあります。滞在は各家庭ごとにアンバサダーの希望を重視したスケジュールが組まれます。安心な上に、オリジナリティーあふれる新しい経験が約束されています

#### 2. 受入

外国からのアンバサダーをクラブ単位で家庭にお迎えし、私達のありのままの姿を紹介するのが受入ホストとしての役割です。特別な準備は必要ありません。家族同様に、さりげなく受け入れるのが何よりのおもてなしです。受入は原則1週間、布団と食事を提供してください。観光以外に、茶道、書道などの伝統文化や、ショッピング、料理、学校見学など、できるだけ普段の生活に触れる機会を作ってあげてください。おいでになったアンバサダーの目的は「しばし日本人」の気分を味わい、日本人を理解すること

#### 3. 国内交流

同じ国のクラブ同志で交流を行い、ホームステイを通して、お互いの地域の文化や歴史について相互理解を深めます。併せて、フレンドシップフォ



ース活動の成功事例や失敗談を話し合うことにより、今後の交流の参考にすることが出来ます。

#### 《所感》

民間レベルにおけるフレンドシップ活動であり世の中における、子どものホームステイは多く存在するが、この活動は大人のホームステイとして活動している点が珍しく大変興味深い活動でした。

近年、静岡県においても外国籍住民が直面する雇用、教育、災害、医療、福祉等の分野のハードルを低くし、相互理解を基盤とした多様性に富んだ多文化共生社会の発展のためには、一人一人が国際理解を深める必要があるため、これからの社会において貴重な体験を得られる事業ではないかと感じました。自身が海外にホームステイするのか、海外からの受入れをしていくのか様々な可能性と選択を考えぜひ検討してみたいと思いました。

#### 《スマイル報告》

生田 陽一君（結婚記念日の御礼）

妹背 俊紀君（誕生日の御礼）

川口 尚宜君（卓話の御礼）

杉田 至弘君（卓話の御礼）

山川 雅久君 4/1 付けで東京転勤により退会になります  
これまでのお付き合いに感謝して、  
涙のスマイルいたします。

#### 《出席報告》

1 月度出席率：89.62%

（会報作成 福島清志）